

自然エネルギー市民の会の講演会・報告会

講演 「再エネ普及・新段階でのドイツの対応と日本の課題」

和田 武(自然エネルギー市民の会代表、元立命館大学教授)

報告 「市民・地域共同発電所に関する全国調査結果」

豊田陽介(自然エネルギー市民の会運営委員、気候ネットワーク主任研究員)

日時 7月15日(土) 午後1時15分～3時30分

場所 ドーンセンター4階 大会議室1

資料代として、自然エネルギー市民の会会員 500円、一般 1000円

世界全体では、2016年未までに風力発電の累積導入量は5億kW、太陽光と合わさって8億kW近くに達し、急速な伸びを続けています。2000年以降はヨーロッパだけではなく中国・インドなど途上国でも再エネ導入が顕著になってきています。

世界での急速な伸びと対照的なのが日本です。OECD主要国の再エネ比率を2015年度で見ると日本は最下位になっています。日本でも再エネ100%社会は実現可能です。日本の年間発電量は11,126億kWhですが、日本での再エネ(太陽光・風力・地熱・水力・バイオマス等々)の導入ポテンシャルはその4倍もあります。日本はドイツやデンマークよりもはるかに再エネ資源に恵まれた国です。積極的普及推進政策が取られれば大きな飛躍につながります。

「市民・地域共同発電所に関する全国調査」で確認された市民・地域共同発電所に取り組む団体の数はおよそ200団体、発電所数は1,028基になりました。2013年の調査では、115団体、458基であり、当時と比べても団体数、発電所数ともに大幅に増加しました。

市民・地域共同発電所が全国的に広がりを見せ、規模の拡大や、手法の多様化が進んでいることが分かります。

参加申込

お名前	
連絡先 TEL	
E-mail	



※E-mailまたはFAXでお申込みください。



自然エネルギー市民の会 / NPO 法人自然エネルギー市民共同発電
〒540-0026 大阪市中央区本町2丁目1-19-470(CASA内)
TEL06-6910-6301 fax06-6910-6302
E-mail: wind@parep.org URL: <http://www.parep.org/>